

一般財団法人地球システム総合研究所は昭和18年（1943年）2月18日に設立された京都大学関連の公益的財団法人である。

その定款で「地球の科学ならびに工学に係わる複合的な情報を取得・解析し、総合的に解釈する地球システム科学及びその関連技術に関する基礎的研究を行い、もって人類繁栄の基になる資源・エネルギー開発、建設、地下水利用、防災や環境保全等への活用を図るとともに、研究成果の普及と専門技術者の育成を通して、地球の安定的有効利用と社会の持続的発展に寄与すること」を目的と定める伝統を有する財団法人であり、長きにわたって活動を継続してきた。

当研究所は、定款に定める目的達成のために次に示す3つの事業を行っている。

- (1) 地球システム科学・技術に関する基礎的・応用的研究
- (2) 研究成果の実用化と啓蒙・普及
- (3) 資源・エネルギー開発、建設、地下水利用、防災や環境保全等に関する研究・調査

これまでに上記の事業により多くの有益な成果を挙げ、我が国の科学技術の発展に寄与するとともに学術的にも多くの貢献を果し、今までに多くの有益な成果を上げてきた。

当研究所はこれまで上記の三つの事業を積極的に継続してきており、令和6年度もこれまでの活動をさらに発展させるため、以下に示す事業計画のもとに活発な活動を行う。

1. 研究所の運営について

当研究所は一般財団法人としての運営を行うために定款で定められた2回の通常理事会と1回の定時評議員会を開催するが、令和6年年度は6月下旬に開催予定の評議員会の終了時点で評議員・監事及び理事の任期が満了するので、6月上旬に評議員選定委員会を6月下旬に評議員会を開催すると共に、評議員会終了後に臨時理事会を開催する。

2. 「自主研究事業」及び「研究会・講習会等の開催事業」の実施

当研究所独自の課題について研究を行い、その成果を公表して科学技術の発展に寄与する自主研究事業に加え、研究成果の普及と有効利用を促進するために、研究会、講演会、セミナー等を開催する。

令和6年度は京都地盤研究会及びILC計画研究会が講演会や研究会を活発に開催する予定である。また、新型コロナウイルス感染症の影響で開催様式の変更を余儀なくされていた国際会議を従来の形での開催について積極的な支援を予定している。

3. 研究・調査及び技術指導の受託

学会や産業界からの要請に応じて、関連科学技術に関する多くの課題の研究及び技術開発ならびに学術調査及び研究技術指導を積極的に実施し、我が国の関連科学技術の発展に寄与する。そのため、様々な委託者からの研究課題の解決を図るための「研究等受託事業」にも積極的に取り組んでいく。

4. ホームページ (<https://www.geosystem-research.com/>) の充実

ホームページを更に充実させ、当研究所の歴史と現状及び活動状況及び成果を積極的に公表する。

以上